

# ほほえんで北播磨



ごあいさつ

副院長兼整形外科部長  
今泉 泰彦

令和8年5月 第46号

春を迎えましたが、例年とくらべ寒暖の変化が大きい日々が続いております。いかがお過ごしでしょうか。当医療センターも北播磨地域で少しでも質の高い医療を提供できますよう、新チームを作り上げようと日々努力しているところです。

新しいチームはやる気にあふれ活気がありますが、まだ十分成熟していない部分もあり、いろいろな不備もあるかと思えます。よりよいチームを作り上げるため努力してまいりますので、温かく見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて今回は、高齢化社会を迎え増加傾向にある大腿骨近位部骨折についてお話しさせていただきます。大腿骨近位部骨折は高齢者に多く、転倒などの軽微な外傷で起こる骨折で、非常に骨のつきにくい部位の骨折です。手術が必要となる場合がほとんどで、骨折の状態に応じて骨接合術や人工骨頭置換術が行われています。2012年の統計では、日本では17万5,000人に発生しており、年々増加傾向にあります。高齢化が最も進むと予想される2040年には、年間30万人にのぼると見込まれています。高齢の方が受傷されることが多く、骨がくっつきにくい上、受傷後1年以内の死亡率も10%前後と高率で、1年後に元通りに近い歩行能力を獲得できるのは約50%程度と、治療上も困難のある骨折です。

当医療センターでは、少しでもよい機能を獲得していただけるよう、受傷後できるだけ早期にリハビリを開始できる体制を整えています。麻酔科医師や内科医師の協力のもと、可能な限り受傷後48時間以内の手術を目指しています。

その後も看護師や理学療法士と連携し、早期離床・歩行訓練を行っています。また、急性期病院である当医療センターでは長期入院が困難なため、2009年より北播磨大腿骨地域連携パス会議を立ち上げ、近隣医療機関と連携し、急性期・回復期・維持期まで切れ目のない治療体制を構築しています。

当医療センターでも地域医療連携室が中心となり、急性期から回復期への橋渡しを行っています。この連携パスには、市立西脇病院、市立加西病院をはじめ、近隣の病院・クリニックにも参加いただき、北播磨地域の51施設とともに年3回の会議を行い、地域全体でよりよい治療の提供に努めています。今後は骨折治療だけでなく、予防の観点から骨粗鬆症治療にも力を入れ、薬物療法、栄養指導、リハビリを通じて地域全体で取り組んでまいります。

このため、患者さんには転院などのご不便をおかけすることもあります。何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

当医療センターではコロナ禍の影響により看護師不足が生じ、令和5年3月に2病棟を閉鎖し医療機能が低下しておりましたが、各部署の努力により令和6年3月に1病棟を再開しました。さらに令和8年度中にはもう1病棟の再開を予定しています。

今後もよりよい医療の提供を目指し、職員一同精進してまいりますので、引き続き北播磨総合医療センターへのご支援をよろしくお願いいたします。

ごあいさつ	1
ドクターのリレー講座	2
新任医師の紹介	4
健康管理センター便り	6
栄養管理室より「減塩のポイント」	7
大きなな～れ、編集後記	8

# 肺がん手術の進歩

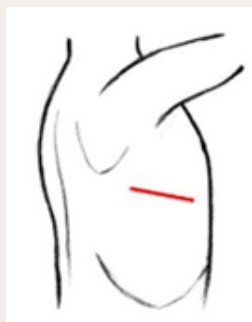
呼吸器外科 部長兼診療科長 木村賢司



呼吸器外科における肺がん手術は、近年の医療技術の進歩に伴い大きく発展してきました。従来、肺がんの手術は肋骨の間を大きく切開して胸を開く「開胸手術」が標準的な方法として広く行われてきました。開胸手術は術者が直接臓器を確認しながら操作ができるため、確実で安全性の高い手術として長年にわたり確立されてきた方法です。

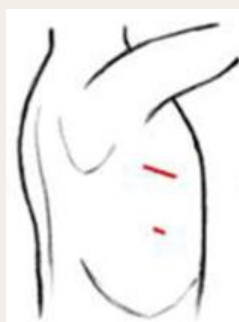
しかしその一方で、創部が大きくなることによる術後の痛みや呼吸機能への影響、回復までに時間を要するなど患者さんにとって身体的負担が大きいという課題がありました。その後、内視鏡技術や手術機器の進歩により、胸腔鏡を用いた「胸腔鏡手術(VATS)」が急速に普及してきました。

## <手術手技の進化>



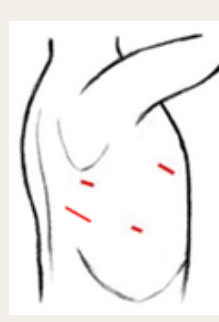
開胸手術

確実性が高い  
侵襲やや大きめ



ハイブリッド  
胸腔鏡

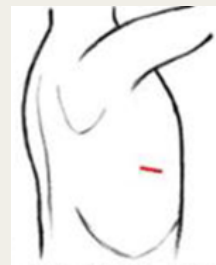
移行期の術式



完全胸腔鏡  
(VATS)

早期肺がんの有効

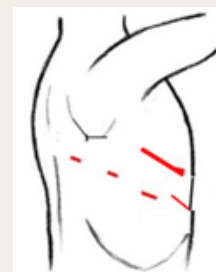
現在の標準術式



単孔式胸腔鏡下手術

切開1か所  
さらに低侵襲

当医療センター2026年度  
導入予定



ロボット支援下手術

3D視野・精緻操作  
術者の疲労軽減

## 胸腔鏡手術(VATS)

複数の小さな切開からカメラを挿入して行う手術

胸腔鏡手術では、数センチ程度の小さな切開を複数箇所にて設け、そこからカメラと専用の手術器具を挿入し、モニターに映し出される映像を見ながら手術を行います。従来の開胸手術に比べて筋肉や肋骨への侵襲を最小限に抑えることができ、現在では特に早期肺がんに対する標準的な手術方法として広く認識されています。

## <主な利点>



術後の  
痛みが少ない



呼吸機能の  
早期回復



早期離床・  
社会復帰の促進



入院期間の  
短縮

# 単孔式胸腔鏡下手術(uniportal VATS)

1か所の切開のみで行う、さらに低侵襲な手術

さらに近年では、胸腔鏡手術の発展形として、より低侵襲を追求した新しい手術手技も登場しています。その1つが、1か所の創部のみで行う「単孔式胸腔鏡下手術」です。従来の胸腔鏡手術では複数のポートを使用していましたが、単孔式胸腔鏡下手術では術後疼痛のさらなる軽減や整容性の向上が期待されており、患者さんにとってより負担の少ない手術として注目されています。

## ロボット支援手術

3次元拡大視野とロボットアームによる精緻な手術

同時期に、呼吸器外科領域においてはロボット支援手術も導入・普及してきました。ロボット支援手術では、術者が専用の操作装置(コンソール)を用いてロボットアームを操作し、3次元の高精細な拡大視野のもとで手術を行います。

人の手首のように自由度の高い動きを可能とする鉗子や手ぶれ補正機能により、狭い胸腔内でも安定した精緻操作が可能となり、血管や気管支の処理、リンパ節郭清などをより安全かつ確実に行うことができます。また、術者の疲労軽減といった利点もあり、今後さらに発展が期待される分野です。

## 各手術法の特徴まとめ

手術方法	特徴	備考
開胸手術	術者が直接確認できる確実性の高い手術。侵襲がやや大きめ。	—
胸腔鏡手術(VATS)	複数の小切開で行う低侵襲手術。早期肺がんの現在の標準術式。	現在の標準術式
単孔式胸腔鏡下手術	1か所の切開で行い、さらに痛みが少ない。	2026年度導入予定
ロボット支援手術	3次元拡大視野とロボットアームによる精緻操作。術者の疲労軽減。	—

## 患者さんに合った手術の選択

腫瘍の状態・全身状態をもとに最適な方法を選びます

それぞれの手術方法には特徴があり、すべての患者さんに同一の方法が適しているわけではありません。腫瘍の大きさや位置、進行度、患者さんの全身状態や既往歴などを総合的に判断しながら、最も適した手術方法を選択することが重要です。

## 患者さんへのメッセージ

当科では、これら多様な手術手技に対応できる体制を整え、患者さん一人ひとりにとって最も安全で効果的な治療を提供することを心がけています。

低侵襲手術の利点を最大限に活かしながらも、必要に応じて開胸手術を選択する柔軟な判断を行い、常に治療成績の向上と患者さんの生活の質の向上を目指しています。今後も新しい技術の導入と安全性の確保を両立させながら、より良い医療の提供に努めてまいります。



# 新任医師紹介

氏名	役職	卒業年度	主な資格
<b>総合内科</b>			
仕名野 剛史	医員	2020年卒	日本専門医機構総合診療専門医
山本 隆史	専攻医	2020年卒	
<b>糖尿病・内分泌内科</b>			
高島 智貴	専攻医	2022年卒	
橋本 芽依	専攻医	2024年卒	
<b>循環器内科</b>			
市堀 博俊	主任医長	2009年卒	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本不整脈心電学会認定不整脈専門医
山田 眞美子	専攻医	2022年卒	
三上 遙	専攻医	2024年卒	
<b>呼吸器内科</b>			
山崎 瞬	医長	2018年卒	日本内科学会内科専門医
<b>消化器内科</b>			
森川 輝久	部長	1996年卒	日本肝臓学会肝臓指導医・専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会内科専門医
中井 達也	医長	2015年卒	日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会消化器病専門医
<b>脳神経内科</b>			
松井 啓悟	専攻医	2023年卒	
<b>放射線診断科</b>			
紀田 剛志	専攻医	2024年卒	
<b>放射線治療科</b>			
宮崎 秀一郎	医長	2013年卒	日本医学放射線学会専門医 日本医学放射線学会放射線治療専門医
<b>小児科</b>			
藤田 智之進	医員	2021年卒	
<b>皮膚科</b>			
竹内 千尋	嘱託医	2013年卒	

氏名	役職	卒業年度	主な資格
----	----	------	------

## 外科、消化器外科、乳腺外科

藤本 涼 専攻医 2020年卒

## 呼吸器外科

池内 真弥 医員 2021年卒

## 心臓血管外科

井上 武	部長兼重症虚血センター長	2000年卒	日本外科学会専門医 心臓血管外科専門医 低侵襲心臓手術認定医
坂本 敏仁	部長	2003年卒	日本外科学会専門医 心臓血管外科専門医 下肢静脈瘤血管内治療実施医 難病指定医 身体障害指定医

## 整形外科

牟田口 由紀子 医員 2020年卒

傳 直樹 専攻医 2022年卒

石田 翔太 専攻医 2023年卒

坂井 慧 専攻医 2024年卒

## 脳神経外科

源吉 駿 医員 2021年卒

安井 暁生 専攻医 2023年卒

## 眼科

増田 理沙 医長 2019年卒 日本眼科学会専門医

## 泌尿器科

岡本 隆志 医員 2021年卒

## 耳鼻咽喉・頭頸部外科

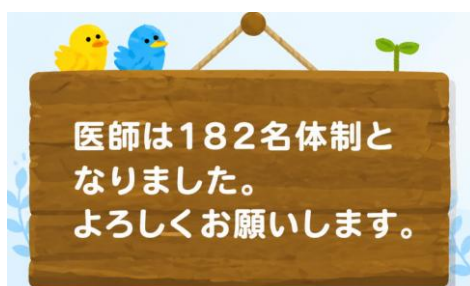
丹 駿介 専攻医 2023年卒

## 麻酔科

久保 栞 医員 2021年卒

## 研修医(初期研修医)

荒木 香奈、梶浦 凧紗、川嶋 千尋、小谷 龍之介、小林 健太、志水 大晟、鈴木 元、立山 陽奈子、松岡 和奏、三宅 祥、森田 優羽、山下 滯介、吉谷 拓也、大橋 遼、舛友 佑衣、美馬 史弥、北村 悠真



よろしく申し上げます



# フレイルドックコースのご案内

～フレイルを予防し、いつまでも自分らしく健康に～



〈フレイルとは…?〉 健常な状態から要介護になるまでの中間の段階のことです。加齢に伴い、筋力が衰え、疲れやすくなり、家に閉じこもりがちになったり、年齢を重ねたことで起こりやすい衰え全般を指しています。



## フレイルチェックをしてみましょう

体重が減った

半年で  
2～3kg  
減った



握力が落ちた

男性26kg 女性16kg未満



蓋が開けに  
くなくなった

疲れやすくなった

わけもなく疲れる



歩くのが遅くなった

同年代より  
歩くのが遅い  
(速度1m/秒未満)



運動習慣がなくなった



1～2つ該当

→プレ・フレイル

3つ以上該当

→フレイル

**1つでも当てはまる方、フレイルドックを受けてみませんか？**

### 〈フレイルドックコース内容〉

健康な生活を守るため、筋力、認知機能、口腔状態など心身の状態を確認できる検査です。

〈検査内容〉：身体・血圧計測、採血、視力・聴力検査、運動・認知機能検査、口腔機能精密検査、骨密度、四肢脈波検査（血管年齢測定）、内科診察、保健指導

①専門家による**口腔機能精密検査**、**運動機能検査**を行います。

●口腔内や筋力など、現在の状態を知ることができます。



②**骨密度**や**四肢脈波(血管年齢)検査**で、身体の状態を詳しく知ることができます。

●四肢脈波は動脈硬化など血管の状態を知ることができます。

女性の方は特にホルモンの関係で骨密度が低下するため重要な検査です。

③他の人間ドックコースとフレイルドックコースを併用すれば

**1万円減額**になります。

●興味がある方は、ご予約時や健康管理センターにご相談ください。



加齢や病気が原因となり、体力・筋力の衰えなどがみられますが、治療や予防などの適切な介入により改善することができます。一度フレイルドックを受けてみましょう。



# 減塩のポイント

～惣菜を食べるときの注意点～

減塩



今回は、塩分が多い惣菜や惣菜の選び方、工夫についてお伝えします。

## ⚠ 塩分が多い惣菜(購入時は注意！)



**煮物・煮魚**  
醤油の使用量が多い



**煮魚**  
醤油・みりんで濃い味付け



**焼き魚**  
塩・味噌で味をつける



**唐揚げ**  
下味に醤油・塩を使用



**焼き鳥**  
塩とたれを使用



**お寿司・巻き寿司**  
酢飯・具材の味が濃い

## ✔ 塩分が少ない惣菜(これなら安心！)



**天ぷら**  
素材自体に塩分なし



**フライ**  
ソースは少量に



**刺身**  
醤油を少量つける



**グリーンサラダ**  
ドレッシングは少量に

⚠ ポテトサラダ・マカロニサラダなど味付きサラダは塩分が多いので注意！

## 💡 塩分を少なくする 7つの工夫

① 煮物・煮魚は 煮汁を残して食べましょう

② 唐揚げ・焼き鳥は 食べる個数を少量にしましょう

③ お寿司・刺身は つける醤油を少なくしましょう

④ 天ぷら・フライは ソース等の調味料をつけずにそのまま食べましょう

⑤ サラダは ドレッシングを少量にしましょう

⑥ わさび・辛子・レモン等を活用すると 薄味でも美味しく食べられます

⑦ 塩分の多い惣菜は 1品にとどめ、買いすぎないようにしましょう

# 大きくな～れ

## 4階東病棟

お産はママと赤ちゃんが一生懸命頑張って作り上げる奇跡の瞬間です。  
そんな大切な瞬間に寄り添えることに感謝しながら、日々全力でサポートを行っています。

3月生まれのBabyちゃんたちを紹介します♡



3月18日生まれ  
3076g 女の子



3月17日生まれ  
2692g 男の子



3月17日生まれ  
2860g 男の子



3月18日生まれ  
2856g 女の子

赤ちゃんが健やかに、すくすくと育たれますよう  
スタッフ一同願っております。

### 【編集後記】

春が訪れ新年度になると、新しいことの始まりや環境の変化が多い時期になります。北播磨総合医療センターも13回目の春を迎え、新しく着任された医師や、新採用された職員が加わり、気持ちを新たに新年度がスタートしています。質の高い医療を提供できるよう努力して参りますので、今年度もよろしくお申し上げます。

春になって私の生活にも小さな変化があり、待ちに待ったプロ野球やMLBのシーズンが開幕し、帰宅後にテレビやスマートフォンで試合を観戦したり、ネットニュースで情報を収集する日々が今年もまた戻ってきました。

ここ3年ほどは大谷翔平選手の活躍や記録が特に気になる日々で、ホームランや二刀流にワクワクしています。また、今シーズンのMLBは大谷選手だけでなく、3月に開催されたWBCで侍ジャパンに選出された7人の日本人メジャーリーガーたちの活躍もすごく楽しみです。

選手たちの頑張りや活躍は、感動や元気を与えてくれます。私にとっての日々の活力や気分転換になり、ストレス解消に役立っています。この春から新社会人になられた皆様も、日々のストレスは溜めないようにして、自分なりのストレス解消法を見つけ、一年間元気に頑張っていきましょう。

中央放射線室 井口 晃彦

発行／北播磨総合医療センター 広報委員会【事務局：管理部 経営管理課】

〒675-1392 兵庫県小野市市場町926-250

☎：0794-88-8800(代表) ホームページ <http://www.kitahari-mc.jp/>